

国際課活動レポート

◆アジア・オセアニア高校生フォーラム【7月27日～31日】



第5回目となるアジア・オセアニア高校生フォーラムが開催され、今年も県内・県外・海外20の国や地域から集まった高校生が“津波防災”や“食糧問題”など、世界共通の課題についてのプレゼンテーションや討論を行いました。参加した高校生たちにとっては、合宿形式で時間を共にしながら、共通言語の英語でのコミュニケーションを図り、互いから学ぶとともに友情を深めることのできた大変有意義なフォーラムであったと思います。

※フォーラムの様子がきのくに21で特集されました。ぜひご覧ください。

https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/nettv/p_ch4/ch4_movie/01_h31nendo/20190901.html

※海外から参加した高校生からも嬉しい感想をいただきました。

- ・本当に素晴らしい経験ができました。和歌山で過ごしたこの最高の1週間の思い出をいつまでも大切にしていきたいと思います。(インドネシア)
- ・様々な国の新しい友人と出会い、研究テーマについて意見を交換するという素晴らしい機会を得ることができ、とても楽しく過ごせました。交友関係が拡大しただけではなく、視野を広げることができました。和歌山については、みなさんがとても親切で温かく迎えてくださったことや圧倒的な自然の美しさが印象的でした。(香港)
- ・さまざまな知識を深め、大変有意義な経験ができました。和歌山はとても魅力的だったので、いつかまた戻ってきて県内の各地をゆっくり探索したいと思います。(ブルネイ)

◆スペイン・ガリシア州青少年代表団来県【8月19日～26日】



スペイン・ガリシア州の青少年代表団15名が8月19日～26日の日程で和歌山を訪れました。

ともに世界遺産である熊野古道とスペイン・ガリシア州のサンティアゴ巡礼道は、世界でも例を見ない姉妹道提携をしており、今年、提携21年目を迎えました。

和歌山市内では和歌山城、マリーナシティなどを見学。紀南に移動してからは熊野本宮大社を参拝し、和歌山県世界遺産センターで熊野古道の歴史や両道の間接関係を学び、熊野那智大社、青岸渡寺、大門坂、那智の滝を巡りました。その他、橋杭岩や潮岬など数々の和歌山の魅力に触れ、暑さを忘れ夢中で写真を撮っていました。滞在最後の3日間はホストファミリーと過ごし、たくさんの思い出とともに帰路に就きました。

異文化体験記 ◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。

和歌山県からインド・マハラシュトラ州に派遣されている大西と申します。昨年4月からムンバイで働き始め1年半が経ちインドの生活に慣れてきたところですが、徐々に2年間の任期の終了が近づいてきました。

ムンバイの気候は主に乾季と雨期に分かれます。近年、インドでも異常気象が見られているようで、現地の人には「雨期の始まりが例年より遅かった」、「降水量が例年より酷い」など気候の変化を憂慮しています。実際に、大雨による災害が多く発生しているようです。

そんな中、昨年、マハラシュトラ州政府はプラスチックの使用を一部禁止にしました。その結果、スーパーでレジ袋はもらえなくなり、マクドナルドやスターバックスなどのチェーン店でもプラスチック製の蓋やストローは見かけなくなりました。現地の生活で、インドにおいて環境に対する意識が高まっていることを実感しています。

〈読売テレビのインドロケ〉

インドと日本は仏教を通じて古くから繋がりのある国です。仏教はヒンドゥー教から生まれた宗教とも言われています。

このことを強く感じる機会が今年9月にありました。読売テレビが番組製作のためマハラシュトラ州で撮影を行うということで、現地調整などのお手伝いをしました。



寺院での撮影の様子

番組の内容は、正倉院に収蔵されている螺鈿紫檀五弦琵琶のルーツを探るというものです。五弦琵琶のルーツはインドであるという説があり、このことを示すものが、マハラシュトラ州のアジャンタ石窟群にあると言われていました。アジャンタ石窟群は仏教の遺跡として世界遺産に登録されています。

この番組のインドパートの案内人は、なんと俳優の小池徹平さんです。番組では、小池さんがマハラシュトラ州の各都市を巡り、インドの文化に触れあいながら五弦琵琶のルーツの手掛かりを探し求める旅をします。番組では私も少し出させていただきました。

番組は10月19日にBS日テレで放送される予定なので、みなさん是非ご覧ください。

そして、番組を見てインドに興味を持たれた方は、ぜひ仏教が誕生し栄えた証として残るアジャンタ石窟群を一度見にマハラシュトラ州へお越しください。



洗濯場での撮影の様子

〈大西 辰典 (平成29年よりインド・マハラシュトラ州に派遣)〉

～海を渡った先人達～

海外・国外で活躍する和歌山県人がここに集う 和歌山県人会世界大会開催のお知らせ

和歌山県は、全国で6番目に多い約4万人もの移住者を輩出した移民県です。海外に移住された方々は、移住先において和歌山県人会を組織し、文化や伝統を次世代へ継承する様々な活動を続けられてきました。また、国内各地でも和歌山県人会が組織され、故郷を離れた和歌山県人相互の交流が図られています。和歌山県と各県人会はこれまで、創立周年記念式典等の機会や子弟受入事業等を通じて、様々な交流を続けてきました。

この度、県民の皆さまが移民の歴史を共有し理解を深め将来への活力を増す機会とするとともに、国内外の県人会の皆さまが故郷への誇りと自信を新たにし更なる活躍につなげる機会とすることを目的に、初の「和歌山県人会世界大会」を開催します。海外・県外の県人会から約500人がふるさと和歌山に里帰りし大会に参加される予定です。

11月24日(日)16時から、記念式典・記念コンサートを開催します。記念式典では、和歌山県の移民の歴史や先人の苦勞を県民に広く知っていただくとともに、各県人会を顕彰し海外・国内から集う県人会の皆さんをあたたかくお迎えします。記念コンサートには、宮沢和史さん(元『THE BOOM』)をメインに、アルゼンチン出身二世歌手でアルゼンチン和歌山県人会員の大城クラウディアさん、和歌山児童合唱団、星林高等学校吹奏楽部が出演されます。

この記念式典・記念コンサートへの一般参加者を募集しています。募集人数は約1000人となっており、応募締め切りは10月20日(日)、応募者多数の場合は抽選となります。

下記URL大会ウェブサイトより、ぜひご応募ください。

<http://all-wakayama.com/>